

コモンズは共有地や公園、広場などみんなが利用できる場所のこと。大学の学生食堂もコモンズです。それから転じて、こういう場所を利用する権利、共同有権とか入会権もコモンズといいます。

私が学生のころ「コモンズの悲劇」という有名な論文が発表されました。「多くの牧夫が牛を飼っている共有の草地（コモンズ）は牛を増やし過ぎると牧草が回復不能になる臨界点を踏み越えて牧夫が自分の利益を得よう

コモンズは共有地や公園、広場などみんなが利用できる場所のこと。大学の学生食堂もコモンズです。それから転じて、こういう場所を利用する権利、共同有権とか入会権もコモ

ンズといいます。

私が学生のころ「コモンズの悲劇」という有名な論文が発表されました。「多くの牧夫が牛を飼っている共有の草地（コモンズ）は牛を増やし過ぎると牧草が回復不能になる臨界点を踏み越えて牧夫

が買いそろえるお金さえあれば誰でも漁業ができるのが普通。儲けに殺到するのは人の性ですから、19世紀以降、各地でコモンズの悲劇つまり乱獲が頻発しました。

これに比べ日本の海

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

とするので消滅する」と言うのです。

は漁業権を持つ漁師さんは漁業権以外は、たくさん魚になり昔ながらの漁業

に戦後の復興期、建材が捕れる網などは使えません。この制度はお

や薪にするために多くが漁業権制度に戻したのです。

その山が禿げ山にそらく1000年以上なったのを覚えているも前から続いています。

も前から続いています。

コモンズの悲劇

方もいらっしゃるでしょう。あれはまさに「コモンズの悲劇」そのものだつたわけです。「コモンズの悲劇」つて、要するに目先の損得勘定のために大事な牧草地をだめにしてしまう

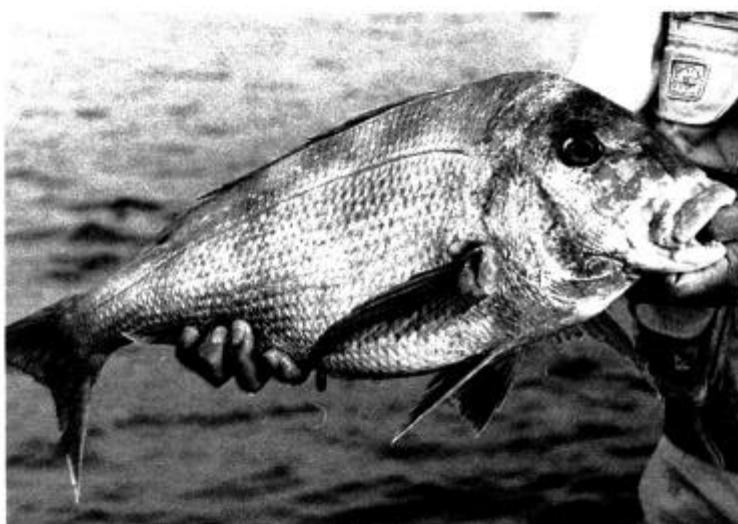
ことです。

意味から、この制度が果たしている役割は非常に大きいのです。一

水産資源を守るという批判も一面では真理をついています。でも、私物化しているという意味から、この制度が

意味から、この制度が果たしている役割は非常に大きいのです。一水産資源を守るという批判も一面では真理をついています。でも、私物化しているという意味から、この制度が

意味から、この制度が果たしている役割は非常に大きいのです。一水産資源を守るという批判も一面では真理をついています。でも、私物化しているという意味から、この制度が



釣り人が釣り上げたマダイ

でもこの10年ばかり、遊びで釣りをする人たちのために、コモンズの悲劇が起っこりかねないといわれています。京都では釣りで釣られるような大きなマダイに限ると、遊びの釣り人が釣る数が多いのですが、大きなタイをクリーパーで一杯釣りたいって気持ちはよく分かるのですが、ほどほどにしておかないと神奈川県のようにマダイ放流協力金を払わなくてはいけないようになるかも。